

市町村長特別セミナー～住みよい地域づくりにむけて～

平成28年度市町村長特別セミナー～住みよい地域づくりにむけて～を、7月14日、15日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から58名の市町村長・副市町村長の皆様にご参加いただきました。また、同時開催の管理職特別セミナーには、39名の部課長級管理職の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、これからの住みよい地域づくりに向けた諸課題として、「今後の政治動向」「日本経済の行方」「高齢化の進展とまちづくり」「地域活性化の具体的戦略」を取り上げ、各分野の第一人者の方にご講演いただきました。

初日は、「我が国の今後の政治動向」と題して、TBS「NEWS23」キャスターの星浩氏から、選挙区制度と政党政治の関係、医療費増大の財政に与える影響、経済成長と移民政策の相関性など、大変参考となるお話をいただきました。参加者からは、「世界情勢から今後の日本の成長すべき姿を我々が考えていかななくてはならないと思った。」などの感想をいただきました。

次に、「日本経済の行方」と題して、時事通信社解説委員の軽部謙介氏から、「リスク」は各国においてつながっていること、英国のEU離脱や米国大統領選挙など国際情勢や国内の構造変化が経済に及ぼす影響などを、わかりやすくお話いただきました。参加者からは、「今日本経済が迎える問題点を世界経済から見据え、日本として次の一手を考える必要があると痛感しました。」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、琴奏者の片岡リサ氏による「ミニコンサート」が催されました。

日本古謡の「さくら」など、誰もが知っている曲などを演奏いただくとともに、歌声も披露され、琴の奥深さと親しみやすさを体感できる、音楽による地域活性化手法の参考となる演奏会でした。参加者からは、「生の迫力に感動しました。琴の音色と歌はとても風情があり、楽しませていただきました。」などの感想をいただきました。

2日目は、「まちの生態学 ～過疎地と都市における高齢者の居住～」と題して、明治大学理工学部教授の園田眞理子先生から、過疎地の人口減少の実態の分析や対応策の提案、大都市郊外部に地域居住・介護・医療等の計画立案の可能性などについて、考えさせられるお話をいただきました。参加者からは、「分析手法・分析内容とも大変参考になった。我が町に置き換えて分析し、実践に活かしたい。」などの感想をいただきました。

最後に、「田園回帰1%戦略～地元にと仕事を取り戻す～」と題して、島根県中山間地域研究センター研究統括監・島根県立大学連携大学院教授の藤山浩先生から、都市から中山間地域への移住の実態と人口・所得を取り戻す方策及び地域内経済循環の再生など大変興味深いお話をいただきました。参加者からは、「たった1%で大きく変わることができることに驚きました。」「何かできる意欲を喚起させられる講義でした。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「今までやってきたことを振り返る良い機会でした。」などの感想が、参加者から寄せられました。

我が国の 今後の政治動向

TBS「NEWS23」キャスター
星 浩氏



日本経済の行方

時事通信社解説委員
軽部 謙介氏



ミニコンサート

琴奏者
片岡 リサ氏



まちの生態学 ～過疎地と都市における 高齢者の居住～

明治大学理工学部教授
園田 眞理子先生



田園回帰1%戦略 ～地元にと仕事を取り戻す～

島根県中山間地域研究センター
研究統括監・
島根県立大学連携大学院教授
藤山 浩先生

